

News Release

令和6年能登半島地震にかかる建物更生共済の支払件数・支払共済金等について
お支払い金額：1413.2億円／調査進捗率98.1% (7月26日現在)
 生活再建のお役に立てるよう、早期のお支払いに向け事業の総力を挙げて取り組んでまいります。

このたびの令和6年能登半島地震によって被災された皆さまに、謹んでお見舞い申し上げます。皆さまの一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

J A共済連（全国共済農業協同組合連合会）では、被災地域の一日も早い復旧・復興のお役に立てるよう、全国規模の広域査定支援体制を確立し、J Aと一体となり、迅速かつ適正な損害調査に取り組んでおります。

このたび、令和6年能登半島地震にかかる直近の共済金支払状況を取りまとめましたのでお知らせいたします。

1. 令和6年能登半島地震における建物更生共済の損害調査状況および共済金支払状況

お支払い金額：1413.2億円／調査進捗率98.1% (令和6年7月26日時点)

《内 訳》

県名	事故受付件数	調査完了件数	共済金支払件数	支払共済金
新潟県	25,234件	24,976件 (99.0%)	19,933件	174.8億円
富山県	37,237件	36,206件 (97.2%)	28,517件	178.2億円
石川県	66,286件	65,134件 (98.3%)	59,108件	1,038.5億円
福井県	2,656件	2,589件 (97.5%)	2,289件	15.5億円
その他	649件	607件 (93.5%)	414件	6.2億円
合計	132,062件	129,512件 (98.1%)	110,261件	1,413.2億円

※調査完了件数の（ ）内は、事故受付件数に対する調査完了件数の割合です。

2. 令和6年能登半島地震における早期お支払いの実現に向けた取組み

(1) 全国規模の広域査定支援体制の確立による損害調査の実施

迅速な損害調査・共済金のお支払いを実現するため、全国規模の広域査定支援体制を確立し、被災地域の職員に加え、全国から延べ1,230名の職員を派遣し、損害調査を実施しました。

《内 訳》

県名	全国からの職員派遣数
新潟県	89名
富山県	391名
石川県	750名
合計	1,230名

(2) 集中事務処理支援体制の構築による支払処理等の実施

早期に共済金のお支払いを完了するため、被災地域に加え、3拠点（全国本部・川崎センター・大阪センター）での集中事務処理支援体制（延べ 219 名）を構築するなど、調査が完了した事案の支払処理等を実施しました。

3. 組合員・利用者の皆さまからいただいた感謝の声

- ▶ 初めての大きな地震で不安な時に J A が近くにあり、ありがたかった。
- ▶ わざわざ遠い所から来てくれてありがとう。遠い所から来れるのも J A の力なんやね。
- ▶ J A に入って本当に良かった。こういう時に頼りになるのが J A やね。
- ▶ J A さんに入っていれば安心だと周囲の方から聞いたけど、本当にその通りだった。
- ▶ 私は東日本大震災の時に宮城でボランティアに参加しました。今度は宮城の方がこうして調査に来てくれていることに“縁”を感じます。
- ▶ （J A 担当者に向けて）被害の心配をしてくれて、電話をしてくれてうれしかった。
- ▶ お父さんが寝たきりになった時も共済でお世話になった。今回の地震でも被害にあい、共済に加入していて良かった。復興には時間がかかるが、家族全員で頑張りたい。
- ▶ 度重なる地震で気持ちが片づけに進まない中、本当に人と人とのつながりが大切だと思ったよ。遠いところからありがとう。
- ▶ 震災から家の片づけ等で忙しくて、これからのことを考えられずにいた。共済金があると思うだけで半歩前に進める気がする。
- ▶ 遠い所からありがとう。J A の人たちが一番最初に連絡してくれてほっとした。これからも末長いサポートをお願いします。
- ▶ J A さんがいつも来てもらって、話をするだけで元気がもらえてるんよ。本当に感謝しています。
- ▶ なにより、はじめに安否の確認をしてくれてうれしかった。
- ▶ 大変さ、被害の大きさ、不安を共有できてうれしい、安心した。
- ▶ 自分たちは震災以来、どこが損傷しているか見る気もしなかった。危ないところもあるのに見てくれてありがとうございます。

J A 共済連では、引き続き、被害を受けられた組合員・利用者の皆さまに対し、一日も早く安心と共済金をお届けできるよう、J A と一体となり事業の総力をあげて取り組んでまいります。

【参考】過去の大規模自然災害にかかる共済金お支払額（令和6年3月末時点）

▶ 建物更生共済における自然災害に対する共済金支払状況

令和5年度の主なお支払い

- ① 令和5年7月
令和5年7月豪雨（福岡・山口・秋田ほか）
7,724件 / **95**億円

- ② 令和5年8月
令和5年台風6号（沖縄・鹿児島・宮崎ほか）
10,165件 / **47**億円

- ③ 令和5年8月
令和5年台風7号（三重・大阪・和歌山ほか）
12,045件 / **40**億円

- ④ 令和6年1月
令和6年能登半島地震（石川・富山・新潟ほか）
70,249件 / **754**億円



※平成7年以降に発生した、支払共済金額が1,000億円以上の自然災害を掲載しています。

過去の主なお支払い※

- ① 平成7年1月
阪神・淡路大震災（兵庫・大阪・京都ほか）
101,535件 / **1,188**億円

- ② 平成16年9月
台風18号（山口・熊本・福岡ほか）
284,564件 / **1,083**億円

- ③ 平成23年3月
東日本大震災（福島・宮城・岩手ほか）
684,867件 / **9,377**億円

- ④ 平成28年4月
熊本地震（熊本・大分・福岡ほか）
94,223件 / **1,487**億円

- ⑤ 平成30年9月
台風21号（大阪・愛知・和歌山ほか）
231,608件 / **1,174**億円

- ⑥ 令和元年10月
台風19号（神奈川・宮城・静岡ほか）
83,850件 / **1,015**億円

- ⑦ 令和3年2月
福島県沖地震（福島・宮城・栃木ほか）
133,187件 / **1,098**億円

- ⑧ 令和4年3月
令和4年福島県沖を震源とする地震（福島・宮城・岩手ほか）
187,510件 / **1,554**億円

以上